

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 掛田 勝彦

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

会派代表者

掛田勝彦

経理責任者

増田誠宏

視 察 議 員	掛田 勝彦				
期 間	令和3年2月2日（火）～ 令和3年2月2日（火）				
視 察 先	広島県三次市上田町388（旧上田小学校） 特定非営利法人 ほしはら山の学校				
視 察 用 務	里山を活かした地域づくり				
視察先対応者	特定非営利法人 ほしはら山の学校 浦田 愛 氏				
概要及び所見	<p>講師 特定非営利法人 ほしはら山の学校 浦田 愛 氏 午前10:00～12:00</p> <p>※講師の研修は、三次市の魅力を活かした、子育て環境づくりの実践を交えた内容でもあった。講師の言葉を通して次のようなまとめをしたいと思います。</p> <p>三次市の魅力をどう引き出しながら、どこに重きを置いて、どこを我慢していくのか。そしてどこにお金をかけていくのかを考える必要性があると感じました。三次市の豊かな自然を活用しながら体験活動を学びの場としてとらえていくことが重要であると思いました。背景には、心の豊かさを醸成するためには、人とのふれあいや多様な地域資源をいかすことが大事であり、子どもの視点から</p> <p>【図1】</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">学校・保育所 (学校教育・ 保育所)</td> <td style="padding: 5px;">地域 (地域教育)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">家庭 (家庭教育)</td> <td style="padding: 5px;">社会 (社会教育)</td> </tr> </table> <div style="margin: 0 10px;"> </div> </div> <p>みると個の学びの支援を図1のように表すことができます。現状はどうだろうかとの問いかけに、子どもに対して学校も手厚く対応されているところもあるが、多様な子どもたちに手が差し伸べられていない状況もあるのではないだろう</p>	学校・保育所 (学校教育・ 保育所)	地域 (地域教育)	家庭 (家庭教育)	社会 (社会教育)
学校・保育所 (学校教育・ 保育所)	地域 (地域教育)				
家庭 (家庭教育)	社会 (社会教育)				

うか。だからこそ、ここに違ったアプローチが必要だと感じました。図1で示した横断的な関係をつくることや、三次の強みである自然体験を通して、地域の人たちのいろいろな働きかけが個の成長に大きく寄与することもあると実感します。

令和4年度から段階的に始まる、コミュニティスクールにも大いに役立つ内容であったと思います。教育を通して町づくりをどう進めていくのかがポイントにもなると感じました。

視察等報告書

三次市議会議長 様

報告者 藤岡 一弘

下記の通り、視察が終了したので報告致します。

視察議員	藤岡 一弘
期間	令和3年2月2日
視察先	特定非営利活動法人法人ほしはら山のがっこう
視察用務	特定非営利活動法人法人ほしはら山のがっこうの取り組みについて
視察先対応者	副理事長 浦田 愛 氏
概要 及び 所感	<p>○ほしはら山のがっこうについて</p> <p>事業概要:①校舎の教室や体育館の貸し出し ②ふるさと自然体験塾の開催 ③ふるさと体験プログラム</p> <p>○ふるさと自然体験塾について</p> <p>森林を活用した自然を活かした体験イベントを開催している。</p> <p>[主な内容]</p> <p>①おいしい楽校シリーズ ・年間を通して、おいしい自然をコンセプトに、田んぼで米作り体験を実施。</p> <p>②かけっこスクール ・「見て」「聞いて」「嗅いで」「触れて」「味わって」など五感を活用し、楽しくバランスのとれた心と体づくりを行っている。</p> <p>③森のようちえん+焚き火カフェ ・森林の中で自然にふれ、学ぶイベント。</p> <p>④防災こどもキャンプ ・子供たちだけで避難したことを想定した一泊二日のキャンプ活動。アウトドアの技術や防災の知識を学ぶことができる。</p> <p>○ 副理事長 浦田愛さんが考える三次のまちづくりについて</p> <p>・「いつまでも住みたい三次市」、「いつかは帰ってきたい三次市」を目指し、「ひとづくりから始まるまちづくり」という認識のもと、応援宣言の取り組みの具現化に向けて子どもの未来を応援するための環境を作る必要がある。</p> <p>①江の川を中核にとらえた自然環境と共生するまちづくりビジョン、 ②誰一人取り残さないデザイン ③小中高校生の若者・ユース世代の居場所 ④里山を活かした教育(森のようちえん、自然体験、環境教育)</p> <p>○視察の所感</p> <p>・里山を活かしたまちづくりやイベントは三次の資源を活かした魅力の活用であり、三次に興味を持っていただいたり、将来の移住・定住につながると考える。</p>

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 徳岡真紀

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	経理責任者
視察議員	徳岡 真紀	
期 間	2021年 2月 2日（火）～ 2021年2 月 2日（火）	
視 察 先	NPO法人ほしはら山のがっこう	
視 察 用 務	視察研修	
視察先対応者	NPO法人 ほしはら山の学校 事務局長 浦田愛	
概要及び所見	<p>前半、「三次市の魅力を活かした子育て環境づくりの実践と提案」というタイトルでNPO法人ほしはら山のがっこう事務局長の浦田愛さんにお話しいただき、後半は、旧上田小学校を活用したほしはら山のがっこうを見学させていただきました。</p> <p>三次市には「子どもの未来応援宣言」という素晴らしい宣言があり、それを中心として、子どもたちが三次という環境を活かしさらに自分らしく生きることのできるよう大人がその土台を作っていく必要があるとの話に非常に共感しました。</p> <p>応援宣言に基づく三次市のあるべき姿として、 「いつまでも住みたい三次市」、「いつかは帰ってきたい三次市」を目指し、「ひとづくりから始まるまちづくり」という認識のもと、応援宣言の取り組みの具現化に向けて子どもの未来を応援するための環境を作る必要がある。その中で、浦田さんが提案された、 1、江の川を中核にとらえた自然環境と共生するまちづくりビジョン、 2、ジェンダーレス、フラット、ユニバーサル、インクルーシブ、つまり誰一人取り残さないデザイン 3、学校以外の小中高校生、ユース世代の居場所 4、里山を活かした教育（森のようちえん、自然体験、環境教育） この4つの提案は、SDGsを踏まえた県北の中核都市三次としての位置づけを明確にするもので、非常に大切な視点だと考えます。</p> <p>文京区にある中高生の秘密基地、「B-l a b」などの事例を挙げながら、今だから三次に必要な居場所について提案いただきました。 また、里山を有する三次市の自然環境を活かした、教育についても提案いただ</p>	

きました。広島には「ひろしま自然保育認証制度」という制度があり、自然保育を行っている団体を県が認証する広島県独自のものです。三次市でもこの制度を活用し、自然体験を通して「生きる力」をつけることができるよう、地域と協力しながら三次市の里山を体験する機会を設けることが、三次の子どもたちの未来を応援することにつながるのではとのことでした。

私がこれまで取り組んできた活動などと非常に近く、ほしはら山のがっこうの活動を参考にしながら三次市の子どもたちが100年後も三次市をふるさととして愛してくれるよう、大人がしっかりと道筋を作っていく必要があると感じました。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	掛田勝彦	経理責任者	増田誠宏
視 察 議 員	増田誠宏			
期 間	令和3年2月2日（火）			
視 察 先	三次市 特定非営利活動法人ほしはら山のがっこう			
視 察 用 務	さとやまを活かした地域づくり 子どもの居場所づくりについて他			
視察先対応者	ふるさと自然体験塾長 浦田 愛			
概要及び所見	<p>前半にて当該施設、上田山の学校は廃校となった上田小学校の木造校舎を改装した交流宿泊施設であり、運営はNPO 法人による指定管理となっている。施設及びNPO の概要について、さとやまを活かした地域づくりという観点から説明を受けた。</p> <p>後半にてみよしの魅力を活かした、みよしのまちづくりについて。子どもの生まれながらの権利、子ども未来応援宣言をふまえて、子どもの取り巻く社会・居場所づくりについて。鳥羽エコツーリズム宣言を参考に、本市における江の川を中核にした川を活かしたまちづくりについて。他 研修を受けた</p> <p>本市においても、今後学校規模適正化を推進するにあたって、閉校後の施設利用をどうするのかという問題が発生してくると思われる。この施設は、さとやまを活かした地域づくりという、先進的な活用事例である。対象地域においては行政も地域とともに今後の活用を早いうちから研究していく必要があり、各地域において参考になるものと考えます。</p> <p>子供の居場所づくりについては、小学生以外には現在本市においては専用の施設・取組みはない。中高生だけでなくユース世代の居場所づくりについて、文京区など先進事例を参考に取組んでいく必要があると考える。</p>			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	掛田勝彦	経理責任者	増田誠宏
視 察 議 員	山田 真一郎			
期 間	令和3年2月2日（火）			
視 察 先	ほしはら山のがっこう			
視 察 用 務	さとやまを活かした地域づくり			
視察先対応者	浦田 愛			
概要及び所見	<p>ほしはら山のがっこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしはらとは ・廃校活用 ・ふるさと自然体験塾 ・コロナ禍における現状 ・施設見学 <p>居場所づくりの現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びの変化 ・子どもの心の成長 ・子どもの遊び空間 ・三次市の現状 <p>《考察》</p> <p>三次市においても、この数年で子ども達にさまざまな変化が起きており、居場所についても都会と同じような状況であることを確認できました。</p> <p>未来を担う子ども達の心の発達は、非常に大切な問題でありこの度の居場所づくり早急に取り組むべき課題だと思えます。</p>			

